

共生のまちづくり推進協議会（ノーマネット白山）家族部会との 意見交換会で寄せられた意見について（令和6年2月協議）

（テーマ）

- ・障がいの人と家族が安心して暮らせる共生のまちづくりについて

No	ノーマネット白山からの主な意見	常任委員会での協議内容
1	<p>白山市は医療的ケアの必要な要介護者が年々増加（白山市は20人程度いる）しているので、医療的ケアのできる施設を増やしてほしい。</p>	<p>市では、令和5年2月に、市内在住の医療的ケアが必要な人や重度の障害のある人、合わせて66人に対してアンケート調査を実施しました。アンケート結果からも、医療的ケアが必要で常時見守りや介護が必要な人は、ホームヘルパー、日中の通所、ショートステイなど、必要な福祉サービスの利用が難しい状況にあることが明らかになっています。その理由として、市内の事業所における医療的ケアに対応できる看護師等の人材不足が挙げられ、医療的ケアに対応できる事業所開拓のための調査・検討や市の現状に応じた体制について、現在、白山市医療的ケア関係者連携会議において協議をしているところです。</p> <p>また、人材不足解消について、看護師資格がなくても医療的ケアの対象者が特定されている場合は、県が実施している介護職員等による喀痰吸引等の実施のための研修を受講し、実地研修を受けることにより、その特定の人々の医療的ケアができるようになります。県のほうで実地研修受講の調整等をしていただけるよう、県市長会を通じて要望等を行い、人材不足解消に向けて継続的な働きかけも行っていきたいと考えています。</p>